

「知的障害のある人たちの発達支援と QOL 向上に向けての生涯学習支援」

職・氏名：講師・西村 愛

所属学科：社会福祉学科

I. 事業の背景

知的障害のある人たちは、高校卒業後は、学びたいという意欲はあっても、1人ひとりに分かりやすく学べる場は多くない。1998年から大阪府立大学で始められた取り組みは、2003年に本大学で始まったが、知的障害のある人たちの要望に沿った講座の提供や、体力の差が出てきたことから、もっと多様な学びを提供したいと思い、本事業に応募した。

II. 目的

本学で2003年度より定期的に行っている県内在住の知的障害のある人たちに対する生涯学習の機会を提供する「知的障害のある人たちのオープンカレッジ」において、様々な年齢の参加者のニーズや体力に合わせた多様な講座を提供することによって、知的障害のある人たちの発達支援とQOLの向上を目指すことを目的とする。学習をサポートする学生にとっては、知的障害のある人たちとの交流を通して、障害のある人の思いを知り、理解促進を図ることを目的とする。

III. 参加者

県内在住の18歳以上の知的障害者

IV. 事業の内容

講座は、受講生の要望を取り入れながら、体力面に配慮して設定している。事業の内容は、3つある。1つ目は、生活に密着した学びの提供、2つ目は、大学に準じた学びの提供、3つ目は学生との交流の場の提供である。参加者したすべての人が、安心して楽しく学ぶことができるように、大学生のボランティアが学習をサポートしている。

V. 事業の効果

県内の大学でこのような実践をしているのは、未だに本学しかない。知的障害のある人が気軽に集うことができる場が少ない状況の中で、生活に必要な社会スキルを獲得できるだけでなく、大学に準じた学びを、それを専門としている専門家から学ぶことができること、そして、その学びをサポートしてくれる学生のボランティアがいることは、知的障害のある受講生が安心して学ぶことができ、結果として自尊心を高めることにも繋がっている。



学生のサポートを受けながら、科学を学ぶ